

# 海外水ビジネス中止を

## 吉田都議 「膨大な負担の危険」

都議会委

日本共産党の吉田信夫都議は23日の都議会予算特別委員会で、都が大企業と連携して進める海外での水ビジネス(水道供給事業)について、「都が高い技術を生かして国際貢献することは重要だが、利益を目的とする民間企業と組んで事業展開すれば新たな水格差をつくりだし、膨大な負担を抱え込む危険性をはらむ」と主張し、都に参加中止を求めました。



石原都知事を追及する吉田信夫都議＝23日、都議会予算特別委員会

買収したオーストラリアの水道事業会社「UUA」に協力し、都の外郭団体「東京水道サービス」がUUAのコンサルタント業務に参画するものです。吉田氏は、都が三菱商事に頼まれて海外水ビジネスに参加し、現地州政府に書簡まで出して全面的バックアップを約束した経過や事業のリスクについて質問。尾崎勝水道局長は、三菱商事などから協力要請を受け、「局内及び東京水道サービスと共同で検討し、参画を決定した」「金利変動など18項目に及ぶリス

クを想定し、分析し、検討した」と答弁しました。吉田氏は、「公共の福祉の増進」が前提の公営企業が特定企業に

肩入れし、リスクを負うことは許されないと批判。水メジャーが利益のために世界に進出し、途上国の人の命を救うどころか、水道料金的大幅上げで貧困層は水を買うことができず、住民の反発で事業撤退するなどさまざまな問題を引き起こしている現状をあげ、貧困問題の解決にならないと主張しました。